

5 神戸の復興のシンボルとして リーグワン優勝を目指します

兵庫県、神戸市を活動拠点とするラグビー・リーグワン1部のコベルコ神戸スティーラーズ。神戸市北区出身の日和佐篤さんに、12月21日④に開幕する今シーズンの意気込みや地元への思いを聞きました。(取材・文 本紙編集部)

Q.どのようなチームですか。

真面目と楽しさが合わさっている印象です。ラグビーをする時は真剣にプレーするけれども、ハロウィーンにはみんなで仮装して練習するなど楽しむ時はしっかり楽しめます。このチームに来て、ラグビーだけではない部分も多く学びました。

Q.チーム内で震災の影響を感じることは。

もともと神戸製鋼所ラグビー部として創部されたこともあり、1月17日が近づくと毎年、震災から立ち上がる神戸製鋼を題材にしたテレビ番組を全員で見て、復興のシンボルとして自分たちがどう在るべきかを話し合っています。震災から30年の節目を迎え、次のステージに向かう神戸の街と共に、チーム

も大きく羽ばたきたいという気持ちです。

Q.観戦時に楽しむポイントは。

ラグビーには背が高い、横に大きい、足が速いなどさまざまな選手がいて、誰にでも活躍の場があるのが魅力です。試合を生で見ると、選手同士がぶつかる時の音や指示を出す叫び声など、体で感じるものがあると思います。ぜひ、五感で楽しんでほしいです。

Q.2024-25シーズンへの意気込みは。

チーム内の競争に勝ち、試合に出たら責任とプライドを持ってプレーしたいです。よく通る大きな声と素早い動きに注目してください。チームが目指しているのは、もちろん日本一。応援よろしくお願ひします。



日和佐篤(ひわさ・あつし)さん

1987(昭和62)年神戸市北区生まれ。5歳の時に兵庫県ラグビースクールで競技を始め、報徳学園高校、法政大学を経てサントリー、サンウルブズで活躍後、2018(平成30)年コベルコ神戸スティーラーズに加入。ポジションはスクラムハーフ。代表キャップ数は51。

コベルコ神戸スティーラーズ
観戦ペアチケットと日和佐篤さんの
サイン入りスポンジボールのセットを
5人にプレゼント

応募方法は7面へ

※チケットは25年2月1日④の
ポストゲーム(リコーブラックラムズ東京戦)の自由席エリア2枚セット



震災パネルなどの展示も

県民応援デー

2025(令和7)年1月19日④のポストゲーム(浦安D-Rocks戦)の自由席エリアを、優待価格で販売します。

④県内在住の人 ⑤ノエビアスタジアム神戸(神戸市兵庫区) ⑥6,000人(抽選) ⑦300円(手数料など別途必要) ⑧25年1月5日④23時59分までに④でコベルコ神戸スティーラーズへ(1人最大6枚まで応募可) ⑨県スポーツ振興課 ⑩078-362-9438 ⑪078-362-4022

申し込みはこちら



Ticket RUGBY

6 県内の農家が学校で食育授業 有機農産物を使った給食も

県では、農家支援のため県産有機農産物の活用を進めており、その一環として、有機農業者が学校給食の食材を提供し、児童・生徒や栄養教諭等に対して食育の授業を行っています。有機農産物の特徴や環境への負荷が少ない農業の価値、生産者のSDGsの取り組み等への理解の促進を目指し、県内各地で実施しています。(県流通戦略課)

《伊丹市立西中学校で食育授業を実施》

10月24日、養父市の有機農業者3人が登壇し、1年生を対象に食育の授業をしました。世界の食料事情や農業の現状を説明し、有機農業を始めたきっかけや思いなどを語りました。講師を務めた田村和樹さんは「子どもたちが分かりやすい話しぶりを意識しました。有機農産物以外も悪いところばかりではないので、それぞれのメリットとデメリットを伝えるようにしています」と話します。

11年前から養父市で農業を営む田村さん。



授業の様子。

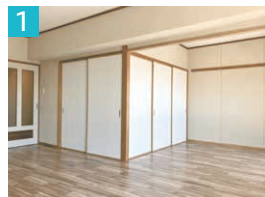
生徒のコメント
今日知ったことを家族に話し、有機農産物も食べるようにしたいです。

⑫県流通戦略課 ⑬078-362-3444 ⑭078-362-4276

7 子育て世帯向けに 県営住宅年間120戸改修

グレードアップ
改修の一例

県では、子育て世帯が快適な住環境を確保しやすいよう、本年度から県営住宅の入居制限の緩和や敷金の免除等を実施しています。さらに2026(令和8)年度まで、子育て世帯の優先募集枠を年間720戸に拡大し、うち120戸はLDKの拡張や和室の洋室化などを施す「グレードアップ改修」を行います。応募条件や募集時期は県ホームページ等で確認してください。(県公営住宅管理課)



1 ダイニングキッチンと和室をつなげて広々としたLDKに。2 玄関には可動棚を設置。ベビーカーを折り畳んで収納できます。



入居者の声

迫田一徳さん 尼崎大庄住宅(尼崎市)

今年5月、私が事業を始めたのと妻の出産が重なったタイミングで、運よくグレードアップ改修住宅に当選しました。LDKは見通しが良く、キッチンに立っている時も子どもの様子が目に入って安心です。民間の賃貸住宅と比べて家賃が安い分、育児や貯蓄にお金を回せるので、子育て世帯にとって県営住宅は有効な選択肢だと思います。



リビングでくつろぐ迫田さん一家。

⑮県公営住宅管理課 ⑯078-230-8461 ⑰078-230-8466 ⑱県営住宅における子育て支援